

懇 親 会

【日 時】 2000年7月27日（木） 18：00～19：00

【会 場】 如水会館（東京都・一ツ橋）

【作品発表】 作文部門 高円宮賞

小学生部門『友達にプレゼントしたら……』

山田 真也

中学生部門『校舎にでっかいハト誕生』

山田 圭祐

挨拶は地球子どもクラブの理事で審査委員の森ミドリさんからいただきました。その後、作文コンクール高円宮賞受賞者の山田真也君、圭祐君ご兄弟に代表して各受賞作を朗読してもらいました。会場内にはポスターコンクールの受賞作品及び入賞作品が展示され、出席者の目を喜ばせていました。

子どもたちや海外からの引率者は、国境や言語の違いを越えた交流にいそしみ、共に写真を撮り合いアドレスを交換する姿がちらほら見られました。海外の子どもたちはこういった場に慣れているのか、国からの小さなお土産をたくさんかかえ、友達になった他国の子どもたちに配り歩いては、通訳を通して挨拶を交わしていました。ここで築かれた新しい交流が今後さらに大きな輪となっていくことを期待します。

都内観光・環境視察ツアー

【日 時】 2000年7月26日（水） 9：00～17：00

【見学場所】 東京都葛西臨海水族館
東京電力横浜火力発電所

【参加者】 海外入賞者 15名 通訳者 8名
国内入賞者 6名 海外引率者・家族 10名
三好 佐知（東京都環境局）

午前中は海外からの参加者、通訳者、引率者を東京観光として葛西臨海水族館に連れていきました。あいにく天候は雨で、バスから見る都内の景色は灰色がかっていました。運悪く交通渋滞により、館内での自由見学は1時間弱という短い時間でしたが、東京都随一の大水槽の中を食入のように見つめ、撮影し合う姿なども見られました。

午後は国内入賞者とアジア子ども会議進行役の三好佐知さんが合流し、横浜火力発電所に向かいました。ここでは、まず展示館のトウニー・ヨコハマ館長から火力発電所ではどういった仕組みでエネルギーを作り出しているかを模型により説明いただき、その後「もし電気がなくなったら・・・」というテーマで製作されたビデオを見ました。普段何気なく使っている電気に対する問題意識を、子供たちに的確に訴えることができたのではないのでしょうか。

その後、火力発電所内のガスタービンフロアや中央操作室などを見学し、最新式のコンバインドサイクル発電の仕組みについて説明を受けました。海外からの引率の大人たちからは特に興味をひいたようで、専門的な応答が案内役の館長や副館長との間を飛び交い、通訳の方が困る場面も見られました。また、発電所で使用される水の多さに「日本はこんなにたくさんの水を持っているのに、なぜ水をさらに輸入するのか」といったシビアな質問がかけられるなど、考えさせる機会もたびたびありました。